

安里哲好会長 4 期目再選 第 222 回沖縄県医師会臨時代議員会



常任理事 稲田 隆司



去る令和 4 年 5 月 26 日（木）午後 7 時より本会館において標記代議員会が開催された。当代議員会の開催については、理事会において新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から規模を縮小することが決定され、出席できない代議員は、一般社団法人一般財団法人法第 38 条 1 項 3 号及び第 51 条に基づき議決権行使書を提出していただいた。

はじめに代議員会の正副議長の任期が 3 月末をもって満了したため、仮議長に嘉手苺勤先生が選出された。嘉手苺仮議長より定数の確認が行われ、定数 59 名に対し、出席者 16 名、議決権行使書提出者 37 名、合わせて 53 名となっており、定款 28 条に定める過半数に達しているため本代議員会は有効に成立する旨宣言された。続いて議長選出が行われ、玉城信光代議員（那覇市医師会）が選出されるとともに、副議長には小渡敬代議員（中部地区医師会）が選出された。

その後、玉城議長より議事録署名人として、上地博之代議員、中村義人代議員が指名され、早速議事に入った。

選挙は、本会役員（会長、副会長、理事、監事）、裁定委員、日医代議員及び同予備代議員いずれも定数内の候補者で、投票によらず選出された。

選出された本会役員・裁定委員、日医代議員及び同予備代議員は 11 ページのとおり。

なお、安里会長所信表明を次のとおり掲載する。

安里哲好会長所信表明

私たち、会長・副会長、13 名の理事、3 名の監事、そして 5 名の日医代議員、5 名の予備代議員を御推薦、選任・選定いただき、心より感謝申し上げます。

第 40 代沖縄県医師会会長として 4 期目の就任に際しまして御挨拶を申し上げます。

2019 年 11 月、中国武漢市で発症した新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界各国に感染

が拡大し、世界の人々を震憾させました。沖縄県では、2020年2月の発生以来、2年4か月続き、第7波を迎えています。

オミクロン BA.2 は感染力が高く、1日陽性者は2,702人と第5波の3.4倍で、一方、致死率は著しく低く、重症は今日の時点で1名です。入院は重点医療機関で297人、慢性期医療病院・精神科病院等で198人でした。

一方、高齢者施設では370人、障がい者施設では60人という状況です。職員の感染者や濃厚接触者等は自宅待機を余儀なくされ、重点医療機関で543人の欠勤者が生じ、診療現場に支障を来しています。

先週に比べ、ここ1週間は明らかに減少傾向にありますが、重点措置期間や緊急事態宣言下の昨年11月から12月にかけての陽性者ゼロないし1桁の状況には成りたいと考えます。

コロナ対策の今後は、施設内感染拡大や入院の対象になりやすい高齢者や基礎疾患を有する18歳以上の方々の4回目のワクチン接種を積極的に推進し、また、自宅等にて待機している職員の速やかな職場復帰の対策を進めて行きたいと思えます。

日々の診療の中で全ての医療機関において、コロナ患者を診る体制の構築が必要とされる状況が訪れる日は遠くないかも知れません。改めて、コロナ医療の前線で日々御奮闘され、またノン・コロナ医療においても現場を守っている代議員や会員の皆様、さらに県や市町村行政、公立病院・公的病院・大学病院・民間病院、そして診療所の先生方、入院待機センター、宿泊療養施設、高齢者施設や障がい者施設の医療・介護従事者の方々にも心より感謝申し上げます。

沖縄県は皆様の力をお借りして、全国の模範となるコロナ対策を展開していると思えます。皆様が等しく多くのコロナ医療に対応してきたこと、入院待機酸素センターの設置、高齢者施設等への初期介入とその後の支援、また、濃厚接触者PCR検査陽性者や抗原陽性者への電話での生活指導、多いときで1日数百人の対応を

しました。また、オンライン診療も試みました。改めて感謝申し上げます。

さて、沖縄県医師会は昨年7月から今年6月まで、九州医師会連合会の担当県で、昨年8月の九州学校保健・学校医・学校健診大会はウェブ会議で行われました。11月の九州医師会連合会総会・医学会はハイブリッド形式で、2,193人の参加をいただき、盛会裏に行われたことに感謝いたします。

しかしながら、九州医師会連合会の諸行事は現地での完全な形での開催は行われず、九州各県の先生方とウェブ会議を通しての交流となり、沖縄の地にお迎えできなかったことは残念です。

また、県医師会の4大行事の1つである、華やかで楽しい新しい年に1年の健康を願う新年会は2年連続で実施できませんでした。また、叙勲・受賞された先輩方の祝賀を医師会報の紙面でしか報告ができなかったことを申し訳なく思います。

一方、4大行事の1つである、研修医歓迎レセプションは形式を変えて145人の参加の下、研修医部門医学会賞表彰式、オリエンテーション、シンポジウムはグループワークとし、テーマ1「初期研修で大切な事は？」、テーマ2「この2年間でやってみたいことは？」を行い、充実した2時間を過ごすことができたことは今まで以上に感激しました。もちろん、コロナ感染者はゼロでした。

41年の歴史にある那覇市立病院医師会が3月末を以て解散し、那覇市の中核病院としてまたさらなる地域医療連携を推進するため、発展的に那覇市医師会に合併しました。また本日、那覇市立病院の新病院建設へ向けての地鎮祭が執り行われました。おめでとうございます。

コロナ禍にて、沖縄県医師会の大きなテーマや諸課題が十分に遂行できない状況ではありますが、4期目も「県民と共に歩む医師会」、「地域医療連携の充実」加えて「魅力ある医師会づくり」を進めると同時に、働き盛り世代の健康づくりを強化して行きたいと思えます。

医療制度上の課題として、第8次医療計画策定へ積極的に関わり、在宅医療及び医療と介護の連携に加え、新興感染症対策も必要です。また、地域医療構想と医師確保、特に診療科偏在と離島診療所における医師確保は重要な課題になりつつあります。医師の働き方改革は医療現場の実情に鑑み、救急医療・地域医療・周産期医療の破綻が生じないように、日医と連携して進めていきたいと思えます。外来機能報告制度や紹介受診重点病院等は、医療圏別の地域医療調整会議で進めていきたいと思えます。

新しい役員は、若きホープ田名毅先生を副会長に配し、加えて中部地区医師会長の中田安彦先生も新理事として参加していただきます。新監事の幸地賢治先生には、たくさんのアドバイスをいただきたいと思えます。副会長3期6年

を含め14年間にわたる医師会活動を支援していただいた宮里善次副会長は勇退されますが、玉城知事とのパイプ役も含め、いつも適切な御助言をいただき心より感謝申し上げます。健康には留意され、今後とも我々を御指導ください。また、7期14年監事をなされ、いつも遠い所から理事会に御出席いただいた名嘉恒守先生には心より感謝申し上げます。

最後に、諸課題が山積していますが「県民の健康と命を守るため」、「医学医療の発展普及に寄与するため」、新役員及び職員一同一丸となって、頑張る所存でございます。

代議員・会員の皆様のさらなる御支援、御指導をよろしく申し上げ、就任の御挨拶といたします。

お知らせ

沖縄県医師会会費減免制度について(ご案内)

本会では高齢・疾病・出産育児等の事由による会費減免制度を設けております。下記減免手続き等、詳細については本会事務局までお問い合わせください。

減免事由	疾 病	出産・育児	研修医	高 齢
対象者	傷病等により医療機関を1か月以上にわたって閉鎖若しくは診療に従事しない会員	出産された(これから出産予定の)女性会員で、出産・育児休業取得者(日医は休業取得・未取得は問わない)	初期研修医	年齢が満77歳に到達した会員
減免期間	閉鎖若しくは診療に従事しなくなった翌月から再開若しくは再従事するに至った月まで。その期間に応じ、月割計算の方法によって算出した額が免除となる	出産した日の属する年度の翌年度1年間 例：平成29年4月1日に出産した場合→平成30年度が減免	医師法に基づく研修医の期間	年齢が満77歳に到達した翌月から免除。但し、2名以上の医師がいる施設においては、1名はA会員の会費を納入する
申 請	必 要	必 要	必 要	不 要
添付書類	診断書	母子手帳の写	不 要	不 要

※本減免制度の利用を希望する場合は、当該年度の1月末までに申請ください。

【問合せ先】 沖縄県医師会 経理課 TEL：098-888-0087

沖 縄 県 医 師 会



会 長
安里哲好



副会長
宮里達也



副会長
田名 毅



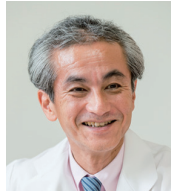
常任理事
稲田隆司



常任理事
照屋 勉



常任理事
平安 明



常任理事
大屋祐輔



常任理事
中田安彦



理 事
比嘉 靖



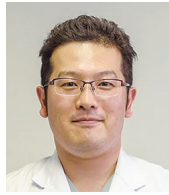
理 事
砂川博司



理 事
白井和美



理 事
徳永義光



理 事
玉城研太郎



理 事
久貝忠男



理 事
涌波淳子



理 事
稲富 仁



監 事
比嘉耕一



監 事
喜納美津男



監 事
幸地賢治

沖縄県医師会新役員

役職名	氏 名	
会 長	安 里 哲 好	再
副 会 長	宮 里 達 也	〃
〃	田 名 毅	新
常任理事	稲 田 隆 司	再
〃	照 屋 勉	〃
〃	平 安 明	〃
〃	大 屋 祐 輔	〃
〃	中 田 安 彦	新
理 事	比 嘉 靖	再
〃	砂 川 博 司	〃
〃	白 井 和 美	〃
〃	徳 永 義 光	〃
〃	玉 城 研 太 朗	〃
〃	久 貝 忠 男	〃
〃	涌 波 淳 子	〃
〃	稲 富 仁	〃
監 事	比 嘉 耕 一	〃
〃	喜 納 美 津 男	〃
〃	幸 地 賢 治	新

○任期：令和4年6月23日開催の定例代議員会終結時より
令和6年6月開催の定例代議員会終結時まで
※常任理事は、理事会において理事の中から互選

沖縄県医師会裁定委員

役職名	氏 名	
裁定委員	野 里 栄 治	新
〃	喜 屋 武 郁 夫	再
〃	池 村 剛	〃
〃	伊 志 嶺 隆	〃
〃	仲 本 政 雄	〃
〃	高 橋 健 造	〃
〃	山 川 宗 貞	〃

○任期：令和4年6月23日開催の定例代議員会終結時より
令和6年6月開催の定例代議員会終結時まで
※常任理事は、理事会において理事の中から互選

日本医師会代議員・同予備代議員名簿

役職名	氏 名	
代 議 員	安 里 哲 好	再
〃	宮 里 達 也	〃
〃	田 名 毅	新
〃	稲 田 隆 司	再
〃	白 井 和 美	〃
予備代議員	照 屋 勉	〃
〃	平 安 明	〃
〃	中 田 安 彦	新
〃	比 嘉 靖	再
〃	砂 川 博 司	〃

○任期：令和4年6月25日開催の日本医師会定例代議員会開催日
より、令和6年6月開催予定の日本医師会定例代議員会
開催日の前日まで